



かじや札 (明治11年)

前年(明治10年=1877年)西南戦争が終結しました。8月に第1回内国勸業博覧会が開催され、政府は国内産業の育成に努力しました。明治11年(1878年)には地方政治に自治制を導入しました。そんな年にこの『かじや札』とも呼ばれた紙幣、新5円券が発行されたのです。『今後、日本が農業に代わって工業をもって立国せん』との意味をこめたもので、お雇い外国人であったイタリア人キョッソーネの図案です。

鉄鋼業が脈々と息づくこの播磨地方に新しく開業した国立銀行(注.1)から発行されました。まだ子供のように見える若い先手(さきて)が2人、横座(よこざ)の相方(あいかた)を務めています。先手のハンマーは現在一般的に見られる洋式のものではなく、刀鍛冶と同様の金槌を使っています。

(注.1)

国立銀行は全国に153行あり、発行した紙幣は、旧券5種類と新券2種類です。

国立銀行は国営の銀行ではなく、国立銀行条例(1872年)に基づいて設立された民間銀行です。

その目的は、殖産興業資金の供給と政府紙幣の整理回収でした。又、の国立銀行で紙幣を発行することができました。

当時の名残を残す銀行は、新潟の第四銀行や四国の百十四銀行などです。



右上の先手ハンマーの頭に注目してください。今のものと少し違ってしています。



第38 国立銀行の変遷

- | | |
|-------|---------------------------|
| 明治11年 | 現在の姫路市で開業されました。 |
| 明治31年 | 「三十八銀行」として営業継続 |
| 昭和11年 | 「神戸銀行」に新立参加 |
| 昭和48年 | 「太陽銀行」と合併し
「太陽神戸銀行」に |
| 平成2年 | 「三井銀行」と合併し
「太陽神戸三井銀行」に |
| 平成4年 | 「さくら銀行」に改称 |
| 平成13年 | 「三井住友銀行」に改称 |

参考図書

この資料は日本銀行貨幣博物館 よりお教えいただきました。
文化財だより 第29号 姫路市教育委員会 1992年

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>

<http://www.kanamonoya.co.jp/>

e-mail ryou@memenet.or.jp

むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください!!

よいお年をお迎えください!